

問 2 5 ① 全般的運用指図の事務処理対応が「良い」理由

- ・単純化されていて良い。
- ・手軽に修正できるのが良い。

問 2 5 ② 全般的運用指図の事務処理対応が「良くない」理由

- ・加入後は全くフォローがない。
- ・事務処理の内容が見えない。報告頻度が低過ぎる。
- ・スイッチングの際、時間がかかりすぎる。
- ・処理が遅い。指図から買い付けまで4日もかかる。
- ・売買はリアルタイムにすべき。午前の動きを見てから当日の指図を出したい（一般的には可能のはず）。
- ・何だかわからないうちに進めている感じ。
- ・何をどこがどうやっているのかわからない。自分の資産が不明瞭に運用されていることに憤りを感じる。
- ・対応内容が理解できない。
- ・短期導入教育の中で判断を求められたのは良くない。
- ・説明会で商品内容の説明がなかった。
- ・加入時は出向中であつたが、出向者への説明は要求しない限り行われなかった。
- ・オペレーションに一覧性が欠けていると思う。

問 3 5 加入者としての意見

- ・ポータビリティ確保後の部分に問題が多い。退職後から受給開始まで時間がある場合、現在の運用環境では素人が手数料を上回る運用成績を上げることは難しい。また、転退職後、制度上も本人所得面からも拠出し続けられず、運用指図者とならざるを得ないケースがある。掛金が労働の対価であるにもかかわらず、資産がなくなるまで手数料が差し引かれるのみとなり、結果的に加入者が何も受け取れない。特に女性の場合、そもそも賃金が低いことが多く、なかなか資産がまとまりにくい。したがって、3年以上加入していたとしても、退職後、受給開始前に資産がなくなりやすい。現在の労働環境・子育て環境では結婚や育児により本人の意志にかかわらず勤務を中断せざるを得ないケースも多い。年金制度面からも労働環境面からも、事実上救済措置がないことは確定拠出年金制度を普及させる点でも問題がある。また、これらの問題のため、今後強制移換となる資産が多く発生すると考えられ、何十年も投資されず税金としても還元されない多額の現金資産が発生することとなる。したがって、今後拠出額の拡大、従業員拠出の実施、ペナルティ支払による中途引き出しの解禁等を考慮した法改正をしてほしい。雇用・育児支援制度など、他の制度からも包括的な見直しが必要だと思う。
- ・投資等によりリスクを負ってまで資産を必要以上に増やそうとは思っていない（安全性を重視している）。特に株式、証券等の知識を持っていないため、一般常識として勉強したいと思うが実際に適用するつもりはない。
- ・加入途中に説明がほしい（特に運用商品の変更について）。
- ・どれも馴染みがなく、説明されても理解できない言葉が多い。確定拠出年金の必要性や仕組みについても専門用語が羅列され、質問にもわかりにくい単語が飛び交い、内容がわからないまま加入している状況であり、よい印象を持ってないままである。
- ・内容も報告もわかりにくい。

- ・年金制度をベースとした法制になっているため、もっと貯蓄的性格を強くした制度へ変更していくべきかと思う。特に中途引き出し案件の整備や、確定給付年金制度の見直しとともに、年金制度全体の整合性をより改善してほしい。
- ・昨年とりあえず確定拠出年金を利用することにしたが、会社業務の忙しさで運用計画を検討していない。自分の選択したものが現在どのように動いているのか、全く不明である。遅くない時期に本格調査の予定。自分の運用資金の状況がすぐわかるような工夫をお願いします。
- ・退職時の手続きがよくわからない。60歳前で止めたらどうなるのか。
- ・いかなる場合でも受給が60歳になっているため、流動性に乏しい。
- ・中途引き出しはできるようにするべきだ。60歳超えるまでできないのは、個人のライフプランに大きく影響する。
- ・中途引き出しができないのは非常に不便・不利。退職した場合はどうすればいいというのか。企業型は手数料がかかっていないからいいが、個人型になれば手数料がかかり、しかも高い。
- ・マッチング拠出ができないことに疑問。中途引き出しができないのはやむなしと考えるが、手数料等で目減りするのは納得できない(個人型に移換した場合)。ポータビリティがないことに加入後知った。現金化するなら一時金と同じ。
- ・個人型になった場合の手数料が高いので、企業型→個人型に変更になった場合などに、中途引き出しができるようにしてほしい。
- ・米国と違い、日本では「貯蓄」ではなく「年金」との理由で中途引き出し、ローンがないのは使い勝手が悪い。拠出限度額についても少額すぎる。

- ・自分の好きな商品を選択したい。手数料がよくわからない。
- ・長期運用のため、手数料はできるかぎり安くしてほしい。
- ・資産運用状況の閲覧画面へのアクセスを、より容易にしてほしい。
- ・従業員の個人拠出を認めてほしい。
- ・運用商品、運用方法などを知る身近な手段を提供してほしい。
- ・確定拠出年金に加入しているにもかかわらず、質問票にあるキーワードのほとんどが理解できていない。今後、自分のためにも理解すべきであるとする。
- ・資産運用に気をつかう時間もエネルギーもそうそうとれない。エンドユーザーの事情を理解していない制度だと思う。
- ・あまり本気で考えたことがない。会社の意向に従っているような状況である。年をとれば、まともに考えられるようになると思う。
- ・運用商品の選択肢が少な過ぎる。魅力的な運用商品がない。
- ・確定拠出年金を採用している企業がまだまだ少なく、株式・債券が一般の個人に受け入れられない原因の一つだと思う。現在の状態であれば、旧来の方がメリットがあったと思う。国の政策としてもっと積極的な拠出年金へのバックアップが必要。
- ・投資に対する知識が低く、不明な点があるので、勉強しなければならないと思う。
- ・自分自身の都合からすると、確定拠出と全額先払を選択できた方がよい。自分の財産形成について、国にも会社にも頼るつもりはない。
- ・導入当初、投資教育、運用商品と多くの知識を得たが、追加的な教育の不足からか、だんだんわかりにくくなってきている（動き

等)。

- ・ 老後の生活費用を見据えた上での確定拠出年金制度なので、その点は安心感がある。ただ、現在の状況は、資産運用にすべて不利な状況になっているように思われる。日本の運用商品はすべてやめて、自分は海外の投資信託に運用しているが、エンロン・ワールドコムなどで運用成績が悪い。投資をしつつ資産を形成するのが確定拠出年金であると思うので、あまりにも分が悪く思える。自分で独自にMMFや外貨立て株購入など行っているが、一層の努力をしないと元本を2,000万円に持っていくのは難しいと思う。だから、この制度で一番必要なのは投資教育であると考え
- る。
- ・ 資産の運用方法についてアドバイスをもらえるような投資教育を受けられる場を設けてほしい。
- ・ 投資教育をきちんとしていない割には社員が負うリスクが大きいように感じる。自分のことは自分でという考え方もありだとは思いますが、強制に近い加入で、納得できない部分がある。
- ・ 投資教育は十分ではないと思う。まだ資金額の小さい初期段階だから関心も薄いのかかもしれないが、逆にいろいろな運用を試行できる時期でもあると思う。運用商品の紹介も、運用スタイルに合うような実績一覧等、もっとわかりやすくしてほしい。また、関心を高めるために、1か月に1度は運用報告をメール（紙ではなく）もらえればと思う。併せて、メールマガジンのような情報公開も考えてほしい。
- ・ 401Kの問題点（欠点）についての説明が全くなかった。運用後のフォロー説明が全くない。

問60 確定拠出年金を導入してよかった点、悪かった点

導入して良かった点	悪かった点
・経済について敏感になった。	・不安が増大した
	・素人で運営できるはずがない。401Kの導入は、当社にとって時期尚早だと思う。
・一般の投資信託より安定していると思う。	・5%の利回りが今後確保できる保証がなく、退職金に期待ができない。
	・今まで厚生年金基金という専門的に行う人たちがいてもうまく行かなくなったものを、一般の人びとが運用して増やせるという気がしない。
・企業としては良かったのだろう。	・個人としては老後に不安がある。
・個人の判断で運用できる。	・途中で引き出しできない。
・退職金原資を確認できること。	・資金の性格が退職金であるのに、使う時点が60歳以降と制約されること(会社の退職時点とならない)。
・自分で運用指図が可能であること。	・本来、米国の401Kは節税のメリットがあると思うが、日本版はそれが希薄であること。運用実績に対して無関心になってしまうこと。
・将来に希望がある。	・今現在、仕事に追われ、考える余裕がない。
・現在は加入年数も少なくよくわからないが、少なくとも今までの年金制度よりは良いと思っている(将来の見通しは明るい)。	・加入前には前例がないため不安があった。
	・自分の目で退職金がいくらなのか確認しづらい。退職時に引き出せない。
・いろいろな商品があって、いろいろ楽しみながら増やせるということは大変良い。	・いろいろな商品があるので、いろいろたくさん入ってしまった。確認がしにくくなったので、失敗だった。もう少し年代・年齢別に例を上げてくれればチョイスしやすかったのでは？

	<ul style="list-style-type: none"> ・将来に対する不安やリスクがはね上がった。
<ul style="list-style-type: none"> ・市場動向に少しは敏感になった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資産管理が大変になった。
<ul style="list-style-type: none"> ・自分の判断で運用可能な点。 	<ul style="list-style-type: none"> ・状況確認する時間がないので、ほったらかしになりがちなこと。
	<ul style="list-style-type: none"> ・諸手続きが面倒。
	<ul style="list-style-type: none"> ・年金受取額の低下。素人が運用して今までの利回りが確保できるわけがない。高利回りの時に利益を得ていたはずなのに、悪くなると個人負担とするのが納得できない。
<ul style="list-style-type: none"> ・安く投資を楽しめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチングのタイミングやポータビリティがないことなど。金融機関のエゴがみえる。
<ul style="list-style-type: none"> ・思ったより面白そう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月給料天引きで、しかも自分で選んだ運用商品であるし、長い目で見るとしかないと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界的な株安の影響や、毎月の手数料の支払などで、今のところ結果的に元本割れしているのが残念である。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の給与のなかから特別な手続きを毎回しなくても年金として蓄積されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・特にはないが、自分の掛金がどう管理されているのか不安な部分がある。

自由記入（個人調査）

問 1 7 コールセンターの対応状況が「良くない」理由

- ・ 応対者が制度を認知していないように思われる。
- ・ 応対者の勉強不足、または指導不足。

問 2 3 ① ウェブ・サイトの使いやすさが「良い」理由

- ・ プログラムが良くできていると思う。
- ・ 表やグラフに表示されるためわかりやすい

問 2 3 ② ウェブ・サイトの使いやすさが「良くない」理由

- ・ HPが使いにくい。一目でわかりやすく、理解しやすくなるとよい。
- ・ 早急に住基ネット番号のみで対応可とすべきである。加入者番号など一々覚えておられない。データはすべてダウンロード可とすべき。各社標準フォーマットとせねば、ポータビリティに問題あり。

問 2 5 全般的運用指図の事務処理対応が「良くない」理由

- ・ 懇意にしていた銀行の人が転勤したため、後がつながりにくくなった。
- ・ 始めたばかりで金額も少なく、「ユーザーID商品登録完了のお知らせ」しか受け取っていないため、そのまま様子を見ているところである。
- ・ 何がどうなっているのか、今一つわかりにくい。

問35 加入者としての意見

- ・ 拠出限度額をもっと増やすべきである（老後生活資金としては、アメリカの制度と比べても少な過ぎる）。アメリカの制度と同様に中途引き出しを認めるべきである。
- ・ 中途引き出しを認めれば良いと思う。年金受給時期を自由にしてほしい。
- ・ 取り扱い商品が少ない。ネット証券のように、指示の即時性と株式への直接投資もできるようにしてもらいたい。
- ・ 年金という商品の性格から考慮して手数料がやや高いという感じが否めない。これが401K加入の伸びを抑制していると思う。
- ・ 手数料が高い。運営管理機関（銀行等）が401Kをしていないのはおかしい。自分たちがやっていないことを人にやらせている。上場企業勤務の人だけ株を累投できるのは不公平。加入手続きが面倒。わからないのでコールセンターは夜間もやってほしい。
- ・ 株式の低迷があるとはいえ運用実績が悪過ぎる。手数料が高く、元本を割り込んでいる商品が多い。リスクはあると考えてはいても、マイナス運用が長期間続くようなら、一旦脱退ないし休止を検討せざるを得ない。
- ・ ポータビリティについて→企業型から個人型加入者、運用指図者となる場合、事務費が高過ぎる（連合会手数料を含む）。
- ・ どの取り扱い機関がどの運用商品を取り扱っているか、手数料も含めた一覧表が欲しかった。取り扱い金融機関を決めるのに苦労した。
- ・ 年金資産がまだ少額の場合に制度に加入できなくなった時に、手数料ばかり差し引かれ、年金資産がゼロになる可能性がある。
- ・ 現在の環境は投資には無理。どれでも同じだが、年金基金と違っ

て自分が決定可能な点は良い。税制上の利点のみで加入したが、それがなければ加入しなかった。

- ・ドルコスト平均法というのを聞いたことがあるが、例えば100円で1株買い、株が50円に下がった場合、2口買えることとなり、最後に120円に上がった場合、その口数からいけば儲かるということらしい。このようなことは確定拠出年金でもありうるだろうか。
- ・義務教育の期間から投資教育を始め、自己責任の重要性を教えるべきである。
- ・個人年金であるなら、拠出限度額を定めなくてもよいのではないだろうか。所得控除限度額を設定して、自由な加入を促進すべきだと思う。
- ・海外の運用実績良好の機関の商品を充実してほしい。
- ・運用商品の種類が少なく選択の幅が狭い。
- ・資産運用の変更等の管理がやりきれないところが大きい。よって現状では、元本確保の商品で選択した。
- ・私の運管は郵便局だが、制度加入後の投資教育がWeb以外全くない。Webはほとんど見ないし、Webでの消極的な投資教育ではだめだと思う。はがきなどでもっと積極的に、センター開催の案内や、ニュースレター配布など行ってほしい。
- ・具体的な運用方法の仕組みの資料がほしい。
- ・拠出限度額について→公的年金の補完としての制度としては、拠出限度額が少ない（自己責任であるのに）ので、引き上げてほしい。
- ・特別法人税について→高齢期における自助努力のための制度であるなら、国としてもこの「税」は廃止すべきではないか。

- ・年金受給時期について→通算加入者等期間の長さにかかわらず、60歳より受給可とすることを希望します。
- ・国として、公的年金の補完としてこの制度を開始されたことは高く評価できる。しかし、広く国民にこの制度を、高齢社会に向け事前の自助努力を行わせようとするのであれば、手数料等への初期2～3年の補助を行うなどの対応は必要ではないだろうか。

問60 確定拠出年金を導入してよかった点、悪かった点

導入して良かった点	悪かった点
・自己責任において将来の生活設計を行う選択肢が増えたこと。	・生活苦の場合、途中引き出しができない。
・税金の控除がある。	・相対的に手数料が高い。
・丸々経費になる。	・値下がりしている点。
	・自分の事業を法人化する予定でいるが、そうすると限度額は1万5千円になってしまう。これでは不便である。
	・全額、所得税控除できる。
	・内容がよく理解できない。加入後の説明がない。
・国民年金だけに拠出していたが、401Kによる物価上昇（今後予想できる）に対し安心感が得られる。	・現時点では特になし。制度の不満を感じたら、即座に拠出金額を減少させたい。
	・最近の株価下落で、時価資産が大きく目減りしている。
・低金利の時代に、個人が運用に責任をもつということは良いと思う。	・運用商品が少ない。自分の好きなファンド・株を組み込めると面白いと思う。
・経済や社会状況に以前より目を向けるようになった。自分の年金を自分の判断で準備するのも楽しみの一つである。	・想像以上に多くの商品があり、選ぶのが大変だった。運用が安定しているもの成績が良いものなどが普通の人にもっとわかりやすいと良いと思う。

・節税できる。	・ただなんとなくだったら最初に選んだ商品を続けそう。
・低金利なので税額控除、退職所得控除による税負担の軽減が魅力である。	・もっと増額できれば良い。